



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

2020年12月1日夕刊

子供13億人 ネット環境なし

自宅にネット環境のない
学齢期(3~17歳)の
子供の割合

西部・中部アフリカ	95%
東部・南部アフリカ	88
南アジア	88
中東・北アフリカ	75
ラテンアメリカ・ カリブ海諸国	49
東欧・中央アジア	42
東アジア・ 太平洋地域	32
世界全体	67

※ユニセフなどの報告書による

格差の解消が急務だと訴えた。新型コロナウイルス感
染拡大の影響で多くの学
校が遠隔学習を実施して
おり、自宅のネット接続
環境は重要性を増してい
る。ユニセフのフォアサ
ル局長は、接続できなけ
れば教育を受ける機会が
失われると懸念を表明。
「子供たちが世界から孤
立してしまう」として、
デジタルデバイド(情報
通信インフラ整備の必要
性と呼び掛けた。
報告書によると、ネッ
ト接続環境の有無は国の
所得水準と密接に関わっ

【国連】学齢期3分の2 格差深刻

格差の解消が急務だと訴えた。新型コロナウイルス感
染拡大の影響で多くの学
校が遠隔学習を実施して
おり、自宅のネット接続
環境は重要性を増してい
る。ユニセフのフォアサ
ル局長は、接続できなけ
れば教育を受ける機会が
失われると懸念を表明。
「子供たちが世界から孤
立してしまう」として、
デジタルデバイド(情報
通信インフラ整備の必要
性と呼び掛けた。
報告書によると、ネッ
ト接続環境の有無は国の
所得水準と密接に関わっ

格差の解消が急務だと訴えた。新型コロナウイルス感
染拡大の影響で多くの学
校が遠隔学習を実施して
おり、自宅のネット接続
環境は重要性を増してい
る。ユニセフのフォアサ
ル局長は、接続できなけ
れば教育を受ける機会が
失われると懸念を表明。
「子供たちが世界から孤
立してしまう」として、
デジタルデバイド(情報
通信インフラ整備の必要
性と呼び掛けた。
報告書によると、ネッ
ト接続環境の有無は国の
所得水準と密接に関わっ

報告書は、ユニセフが
国連専門機関の国際電気
通信連合(ITU)と共
同で公表。世界の85以上
の国・地域のデータを分
析した。

宅にネット接続環境がな
い。報告書は、教育環境
の格差が広がることで、
経済格差のさらなる拡大
につながると警鐘を鳴ら
した。

地域別では、サハラ以
南のアフリカや南アジア
が特に深刻な状況で、学
齢期の子供の約9割が自
宅にネット接続環境がな
い。報告書は、教育環境
の格差が広がることで、
経済格差のさらなる拡大
につながると警鐘を鳴ら
した。

ており、高所得国では学
齢期の子供の約9割が接
続できるのに対し、低所
得国では接続できる子供
の割合は5%未満に落ち
込んだ。

①インターネットの接続環境が自宅にない子供は世界でどのくらいですか。

()人

②インターネットの接続環境が自宅にない子供は世界の学齢期に当たる3歳から17歳の子供のうち、どのくらいを占めますか。

()

③インターネットの接続環境が自宅にない子供は世界の地域別にみて、特にどこに多いですか。

()

④「デジタルデバイド(情報格差)」が広がると、どのような問題点が出てくると考えられますか。

()

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年~中学校、高校/社会、総合)



Newspaper in Education

静岡新聞で学ぼう



記事を読んで、問いに答えましょう。

解答例

2020年12月1日夕刊

子供13億人 ネット環境なし

自宅にネット環境のない
学齢期(3~17歳)の
子供の割合

西部・中部アフリカ	95%
東部・南部アフリカ	88
南アジア	88
中東・北アフリカ	75
ラテンアメリカ・ カリブ海諸国	49
東欧・中央アジア	42
東アジア・ 太平洋地域	32
世界全体	67

※ユニセフなどの報告書による

格差の解消が急務だと訴えた。新型コロナウイルス感
染拡大の影響で多くの学
校が遠隔学習を実施して
おり、自宅のネット接続
環境は重要性を増してい
る。ユニセフのフォアサ
ルは、接続できないけ
れば教育を受ける機会が
失われると懸念を表明。
「子供たちが世界から孤
立してしまう」として、
通信インフラ整備の必要
性を呼び掛けた。
報告書によると、ネッ
ト接続環境の有無は国の
所得水準と密接に関わっ

【国連】学齢期3分の2 格差深刻

格差の解消が急務だと訴えた。新型コロナウイルス感
染拡大の影響で多くの学
校が遠隔学習を実施して
おり、自宅のネット接続
環境は重要性を増してい
る。ユニセフのフォアサ
ルは、接続できないけ
れば教育を受ける機会が
失われると懸念を表明。
「子供たちが世界から孤
立してしまう」として、
通信インフラ整備の必要
性を呼び掛けた。
報告書によると、ネッ
ト接続環境の有無は国の
所得水準と密接に関わっ

宅にネット接続環境がな
い。報告書は、教育環境
の格差が広がることで、
経済格差のさらなる拡大
につながると警鐘を鳴ら
した。
報告書は、ユニセフが
国連専門機関の国際電気
通信連合(ITU)と共
同で公表。世界の85以上
の国・地域のデータを分
析した。

①インターネットの接続環境が自宅にない子供は世界でどのくらいですか。

(13億)人

②インターネットの接続環境が自宅にない子供は世界の学齢期に当たる3歳から17歳の子供のうち、どのくらいを占めますか。

(約3分の2)

③インターネットの接続環境が自宅にない子供は世界の地域別にみて、特にどこに多いですか。

(サハラ以南のアフリカや南アジア)

④「デジタルディバイド(情報格差)」が広がると、どのような問題点が出てくると考えられますか。

((例)インターネットに接続できなければ教育を受ける機会が失われる。
教育環境の格差が広がることで、経済格差のさらなる拡大につながる。 など)

年 組 名前

作問者: 静岡新聞NIEコーディネーター 矢沢和宏

(小学校高学年~中学校、高校/社会、総合)